



海外の ITS 動向

A-4 判 143 頁

一般頒布価格 10,000 円(本体 9,524 円)、5 冊以上一括購入の場合は 1 冊 6,000 円

JARI 賛助員価格 5,000 円(本体 4,762 円)、5 冊以上一括購入の場合は 1 冊 3,000 円

ITS という言葉が使われだしてから約 10 年が経過し、社会的、技術的環境変化の中で ITS は今、安全と相互運用性を指向した新たな段階に進みつつあります。欧州では、European Transport Policy for 2010 のもと、第 6 次フレームワークプログラムの一環として eSafety を中心とするさまざまな研究開発が開始されています。一方、米国では A Ten-Year Vision やナショナルアーキテクチャにもとづいて次期陸上交通関連施策を方向づける予算法 SAFETEA の審議が行われています。また、こうした動きは、単一の国家や地域にとどまらず、グローバルな展開に発展してきており、ITS の推進に関する国際協調の必要性がますます重要度を増してきていると言えます。

本報告書は、新たな段階を迎えて目まぐるしく変化する ITS について、欧米を中心とする研究開発や標準化の動向について取りまとめたものであり、ITS 関係者の皆様に業務の参考として本報告書をご活用戴き、ひいては国際協調促進の一助となれば幸いです。

報告書の特長

第 部では、欧米を中心とする官民の研究開発や標準化の動向について紹介しています。

- ・第 5 次フレームワークプログラムにおけるさまざまな研究開発プロジェクトの成果をベースに、2003 年からは第 6 次フレームワークプログラムとして eSafety を中心に ITS の積極的な展開を図る欧州
- ・TEA-21 に代わる新しい陸上交通関連の予算法 SAFETEA の成立が遅れ ITS にも停滞観が否めない一方、プローブや路車協調型 ITS の導入などの新しい動きも見られる米国
- ・ETC を中心に ITS の導入が進むアジア・オセアニア地域

第 部では、第 10 回 ITS 世界会議マドリッド大会での調査を通じて得られた、eSafety やテレマティクス、プローブ情報システム、ヒューマンマシンインタフェース (HMI) などに関する技術動向や標準化動向をまとめています。

付録として、第 部、第 部の国際動向と比較する意味で、2003 年 4 月から 2004 年 2 月までに報ぜられた、日本国内を中心とする ITS 関連の主なニュースをまとめています。

お問い合わせは

財団法人 日本自動車研究所 ITS センター IT 調査グループ

〒105 - 0012 東京都港区芝大門 1 丁目 1 番 30 号 (日本自動車会館 12 階)

TEL 03 (5733) 7924

FAX 03 (5473) 0655



